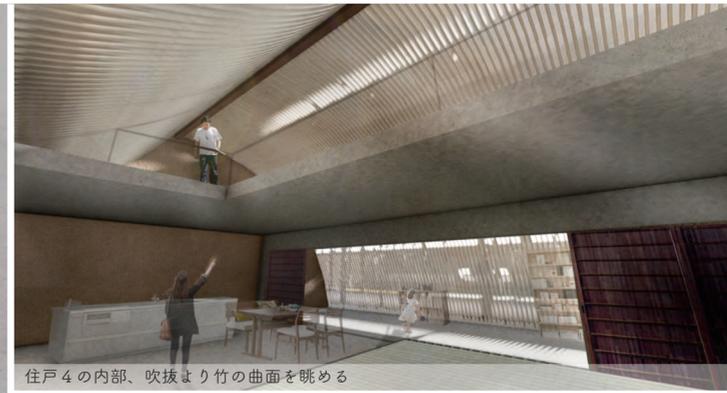


舞鶴の共竹居



京都府北端、柔らかな波と穏やかな時間につつまれる”海の京都”舞鶴は、府内最大の放置竹林を抱え、竹害を被っている地域の一つである。そこに、竹の製材加工所を有した集合住宅を設計し、竹害問題を快方へと導きながら人と竹が共生することができる暮らしのサイクルを新たに創生する。竹を活かし、竹に生かされる。魅力的でサステナブルな集合住宅の提案



住戸4の内部、吹抜より竹の曲面を眺める



2FL 住戸7の前、共用部より西側を臨む



1FL 広場より北側を見上げる

I 自然素材「竹」を選定した理由

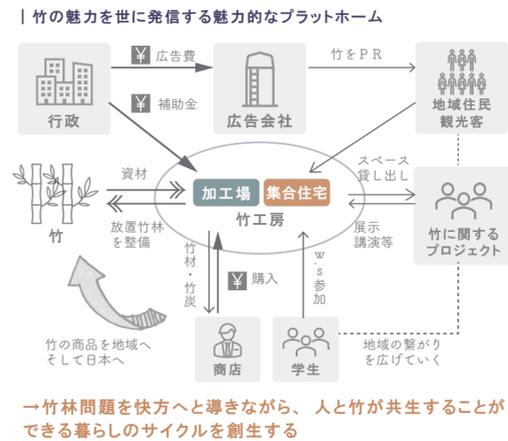
- SDGs** | サステナブルで豊富な植物
 - ・製造時のCO2排出量が少ない
 - ・成長速度が木材の10倍程早い
- 快適性** | 快適な住空間を創生するポテンシャル
 - ・抗菌、消臭、保温、断熱効果
 - ・柔らかく光を反射させる
- 建材価値** | しなやかで優美な曲線
 - ・高い曲げ強度
 - ・節のリズム感などの意匠性

近年「竹建築」は持続可能な建築として注目されている

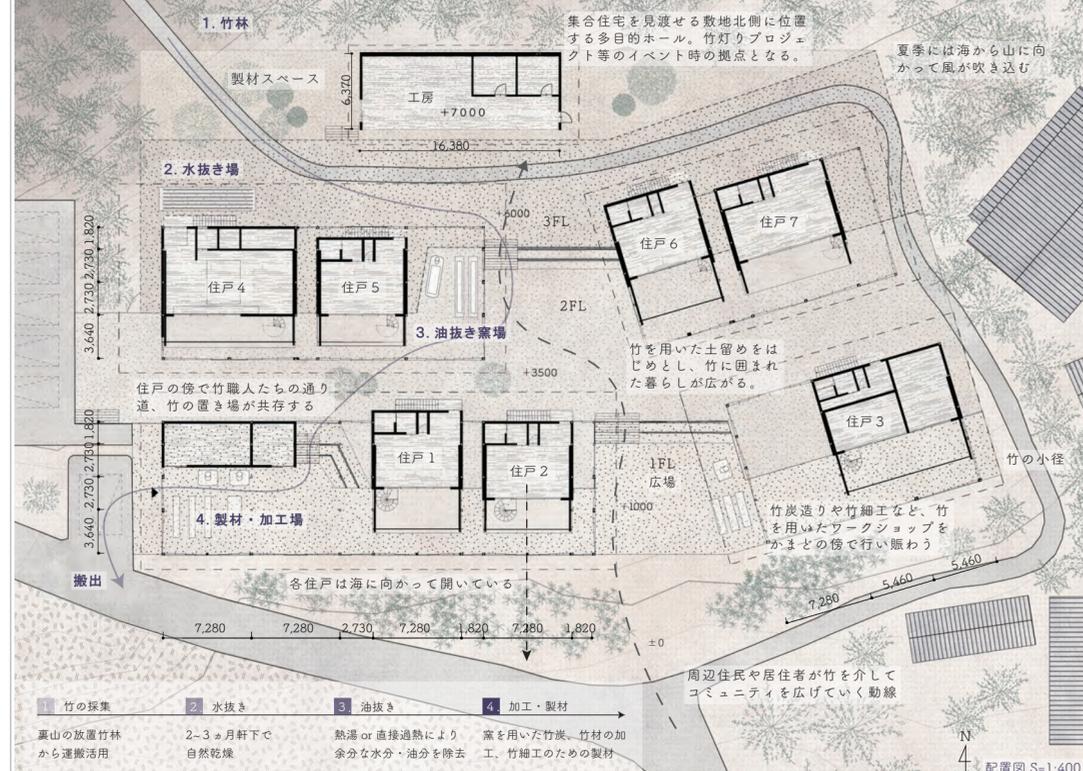
II 竹の製材加工場を有した集合住宅



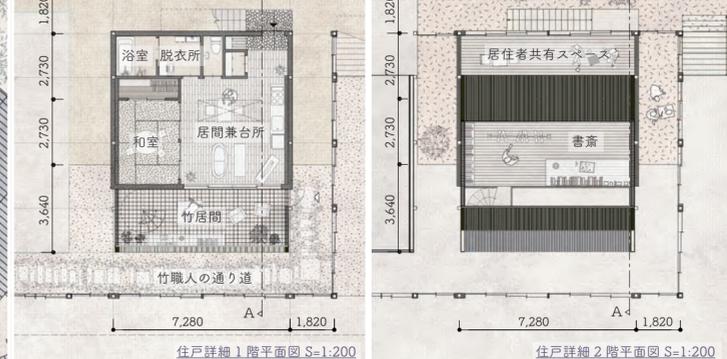
IV スキーム図



V 周辺敷地図兼配置図



VI 平面図



VII 断面図

